

市役所はこんな仕事をしています

予算は101億円

昭和57年度の大野市の予算は、全部で101億円です。このお金は、みんなが幸せな生活ができるようにするために、今年4月から来年3月までに使われます。今年、市が行う仕事を紹介しましょう。



豊かな人づくり

みなさんが楽しい学校生活を送れるようにするため、毎年古い学校を新しく建てかえたり、校舎のいたんだ所を直したりしています。

今年の上庄小学校を鉄筋コンクリートで建てるほか、有終西小学校にプールをつくります。

大人の方がゆとりをもって、楽しい生活ができるようにするために、各公民館では、いろい



建てかえられる上庄小の校舎

ろな講座を開きます。

あなたたちが待っている「子供芸術劇場」は今年も2回開きます。

このほかに、文化財や天然記念物などを大切に守ります。

す 住みよいまちづくり

道路をよくすることは、市の大事な仕事です。

あなたたちがいつも通っている市道のうち、今年は3,900を直し、1万円を舗装します。町の中にも新しく道路をつけたり、みんなが遊べる公園をつくらしたりします。

交通事故にあわないようにするため、道路に白線を引いたり歩道をつくらしたりします。

雪が降っても通学できるようにするために、ロータリー式の除雪車を買入れます。

水がよく流れるよう川を直します

幸せな生活づくり

お年寄りや体の不自由な人たちが、明るく健康な生活を送れるようにするため、お手伝いをしています。

今年4月にオープンした保健センターでは、健康づくりのために、いろいろな検診や予防注射などを行います。

住みやすい農村にするために村の中の道路や川をよくしたり集会所などをつくらしたりします。

恵まれた山林を生かすため、林道をつくらしたり、林産物をたくさん生産できるようにします。

工場やお店屋さんが栄えるため、お金を貸したり、若い人たちが働ける工場を市内に建てるよう、さそいかけます。



富田小学校

学校です

わたしたちの

目標に向かって

6年 松田真由美

私たちの富田小学校は、海拔183 ㊦、北緯35度、東経136度の所にあり、九頭竜川と真名川のほぼ中央になります。

春は校舎を包むように桜が咲きみだれ、夏はカンナが真っ赤に咲き、秋は校舎の木々が黄もようになり、冬には真っ白い雪が銀世界を見せてくれます。

今は緑色の水田がまわり一面に広がっています。

昭和の初めのころに、国会議員となって、国の政治につくされた、猪野毛利栄先生は私たちの学校から出た人です。

学校の近くには遺徳をたたえ



里いもの手入れをする六年生



富田小の正面

るために建てられた、頌徳碑があります。

私たちの学校のよいところはみんながまじめで、人なつこくして明るいことです。伝統を受けつぎ「自分のめあてにむかってがんばる子」になるよう、全校あげてがんばっています。

収穫を夢みる

6年 篠島弘明

僕たちの学校では、毎週金曜日の午後に勤労生産学習をしています。学校から300 ㊦はなれ



育てています。

6年生は里いも・カボチャ・プリンスメロンを育てています。

うまく育てて喜ぶ班、枯れかかってしょんぼりする班など、さまざまです。

毎朝の水やりや、毎週の手入れは大変ですが、秋の収穫を夢みて全員が一生けんめいです。

校庭の花だんには、カンナ・サルビア・マリーゴールド・チューリップ・コスモスなどが植えられています。1人1鉢ずつ責任をもって育てる鉢栽培もしています。家の人や先生に育て方をよく聞きながら、美しい花に囲まれた学校になるように、みんなでがんばっています。



もうすぐ楽しい夏休み

みなさん、楽しい夏休みも、もうすぐだね。今年の夏休みの計画は決まったかな？ 休みになってから考えるのではおそいおそい。早いうちに考えておけば、もつともつと楽しい夏休みになるぞ。もう、ちゃんと計画を決めた3人の友だちを紹介しよう。

夢は恐竜の化石

有終東小5年 山本祐之君

「2年生の時、お父さんと山へ行って岩がくずれた所を探していたら、貝の化石が見つかってびっくりしました」と、祐之君はうれしそうです。

これまで集めた化石は、貝やシダ・アンモナイトなど、100個近くにもなるそうです。

「この間、勝山市の中野侯という所で1億年前の化石が出てきた話を聞いたので、夏休みになったらお父さんにつれて行ってもらって、恐竜の化石を見たいです」と、早くも頭の中は化石でいっぱいみたいです。



古い食器を調査

蔵生小5年 大島美和さん

美和さんのおじいさんは、大野でも有名な古道具の収集家です。蔵の中には、古い民具や人形・時計・ツボなどがいっぱいあります。

おじいさんから古い道具の話をお聞いているうちに、だんだんおもしろくなってきました。

「食器を見ても、みんな色や形が違います。昔の人の生活や変化がよくわかります。夏休みになったら、おじいちゃんに教えてもらって、古いものから順に絵をかいて調べたいと思います」と、話していました。

しかけのある工作

上庄小6年 内田敬之君

敬之君は、幼稚園のころから物を作るのが大好きでした。

工作用紙や空き箱で貯金箱や筆立てなども作りましたが、しかけのある工作が得意です。

輪ゴムの力を利用した動く自動車や、テコを応用したものでボタンをおすと消しゴムが出てくるものなどいろいろです。

「今年の夏休みには、下に引きだしと小物入れのついた本立てを作ろうと思っています。今材料を集めているところなんです」と、楽しそうに話していました。



オリエンテーリング大会

6月13日(日)下庄小学校の
まわりで、オリエンテーリング
大会があり、120人の小・中学
生が参加しました。



オセロゲーム大会



大野ではじめてのオセロゲーム
大会が、6月13日(日)月美町の
三角公園で行われ、400人近い友
だちが参加しました。

写真ニュース

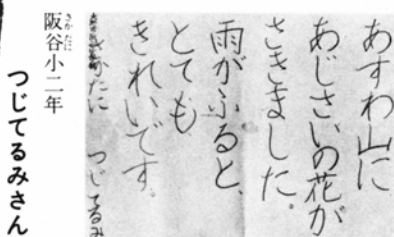
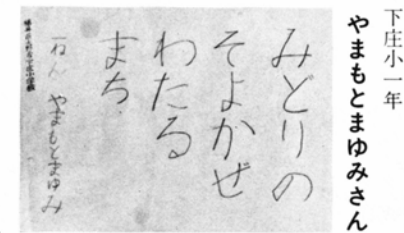
木の枝に付いているワタのよう
な白いものはなんだかわかります
か？ これはモリアオガエルの卵
です。

モリアオガエルはつゆ時になると、
池のほとりの木の枝先に10～
15粒のアワのような卵を産み付け
ます。卵は2週間ほどでオタマジ
ヤクシになり、池へピョンと飛び
込みます。

モリアオガエルの産卵



みんなの作品



有終西小4年
清水直美さん

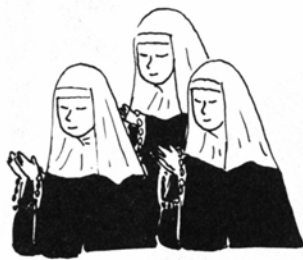


飯 降 山

昔、この山の頂上に3人の尼さんが住んでいました。

3人は仲よく、一心に修行を続けていました。

このようすを神様がごらんになられて、毎日、高い空からご



飯を降らせるようになったということから「飯降山」と名づけられました。

ある時、心がゆるんだのか、降ってくるご飯を3人で食べるより、2人で食べる方が多く食べられると考え、2人が相談してもう1人の尼さんを、高いがけから谷底へ突き落として殺し

てしまいました。

さて、2人でわけて食べられると喜んでいましたが、どうしたとか、次の日からは1人ぶん少なく降ってくるようになりました。

そこで、一番わるがしこい尼さんは、自分1人でみんな食べようと考え、もう1人の尼さんを、また、同じ谷へ突き落としました。

しかし、次の日からは、もうご飯は一つぶも降らなくなりました。残った尼さんは、そのうちに降ってくるだろうと待っていたのですが、いくら待っていても降ってきません。

もう、どうすることもできなくなり、腹をぺこぺこにして、よろよろ、よろよろとよろけながら山を下りて、ふもとの村へ助けを求めました。よろけながら下りた坂が「丁坂」、そしてたどりついた村が「丁」といわれるようになったそうです。

発行 福井県大野市

編集

秘書広報課(電話

⑥ 1111

印刷 (株)松浦印刷

親と子のあそび

音は友達

音あてゲームをしよう

用意するもの ●笛やハーモニカなど音階のでる楽器 ●テープレコーダーなど

《遊び方1》

★1人がうしろむきになり楽器で音を出し、聞いている人がその音が何の音(ドレミの音階)かあてる。

《遊び方2》

★日常よく聞く音をテープレコーダーで録音し、何の音かみんなであててみましょう。



★例えば、水道の蛇口から出る水が流れる音や洗濯機の音・電気掃除機の音・ミキサーの音・エンジンが回る音・ドアのしる音など身の回りにあるいろいろな音を録音してみんなであててみよう。



★録音された音は、意外な音に聞こえるかもしれませんよ

